

既存の規制等 + 環境に配慮した走行(お願い)

= **国道43号通行ルール(兵庫県域)**

ねらい

- ・沿道環境が厳しいことを認識してもらう
- ・(ルールを遵守する車が増えれば)43号通行の抑制、迂回誘導効果

広報・
協力依頼

- ◆関心・実効性を高める工夫
 - ・大気情報に基づく迂回協力依頼
 - ・モビリティマネジメント※の手法の活用
- ◆取り締まりの強化 等

事業所・ドライバー

※1人1人のモビリティ(移動)が、社会的にも個人的にも望ましい方向に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策

国道43号通行ルール(兵庫県域)

1)既存の規制等

◆ 走行できない車(違反車)

黒煙・不正軽油、特殊車両(許可なし)、過積載

◆ ディーゼル自動車等運行規制(兵庫県条例)

規制対象車は国道43号の通行は不可

◆ 夜間通行帯規制

夜間(22時から翌6時)大型貨物自動車等は第3通行帯を走行

2)環境に配慮した走行(お願い)

◆ 渋滞時間を避けた通行・経路変更、車の利用を控える

◆ 湾岸線への迂回

◆ 急加速の抑制

◆ 走行する車線に関して

環境に配慮した走行(お願い)

第1通行帯

- ・『沿道環境に配慮する車線(環境レーン)』(仮称)と呼称
- ・原則として環境にやさしい車のみでの走行をお願いする。

対象車種(案) ※22時～翌6時は夜間通行帯規制により二輪専用

案1 乗用車(古い年式の車を除く)、二輪車

案2 大型車以外



写真 西宮市戎前交差点(下り)

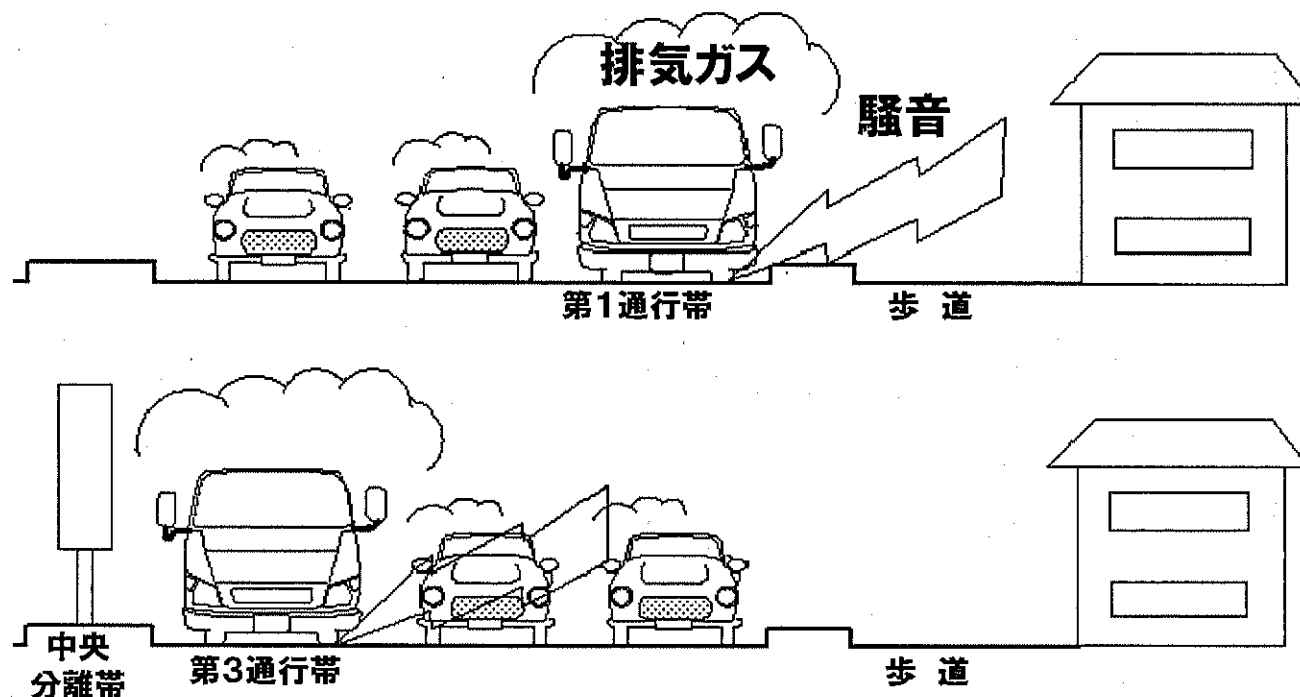
環境に配慮した走行(お願い)

現地での協力依頼

- ・重点対象は、「大型車(右折車等)の第3通行帯の通行」
- ・情報板や看板等(中央分離帯)を活用

車両が中央寄りの通行帯に移動した場合、
距離減衰による騒音・大気濃度の低減効果が見込まれる

⇒ より効果の高い第3通行帯を中心に現地での広報を実施



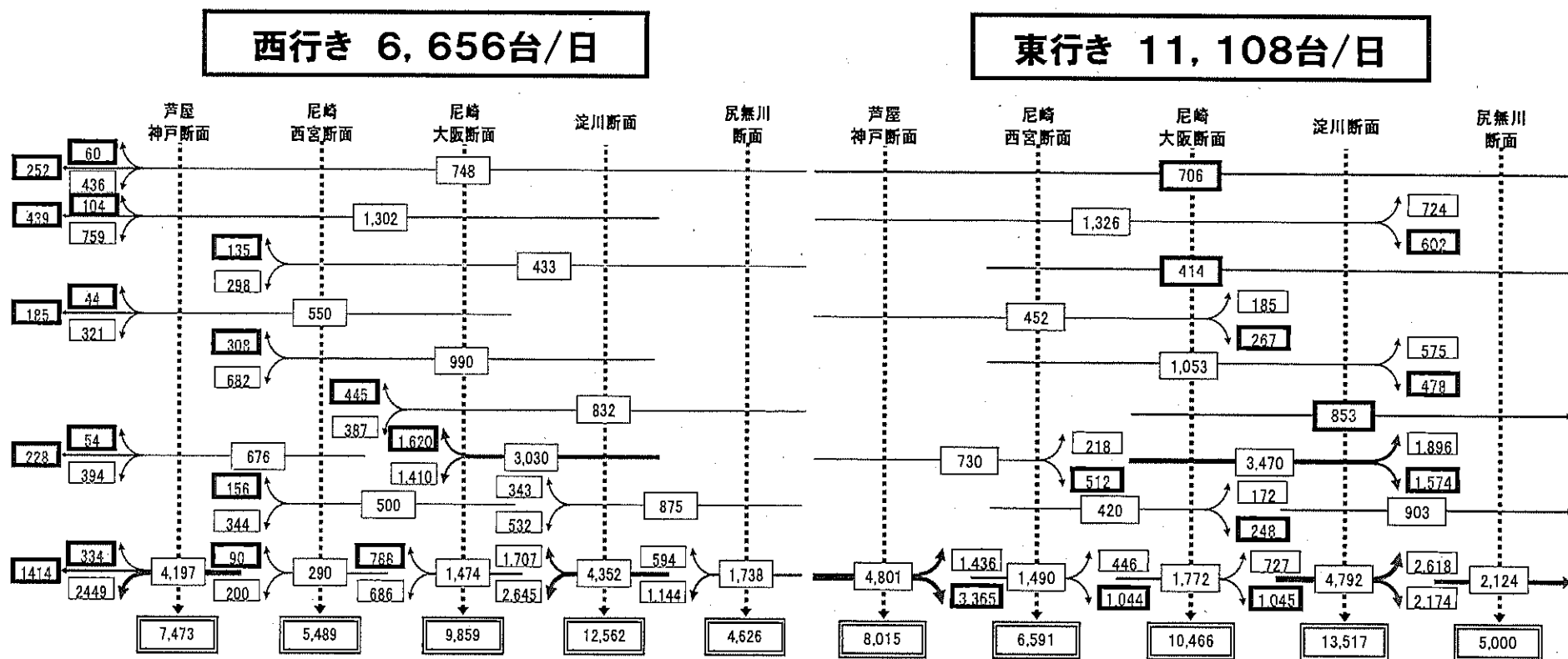
(※) 騒音・排気ガスは、効果をイメージしていただくため、視覚化しています。

第3通行帯の走行 協力依頼対象車

尼崎市、西宮市、芦屋市を通過する大型車のうち、
第3通行帯の走行(お願い)の対象車は約18,000台

○対象車 : 国道43号を右折する大型車等 ※

※対象車台数には、尻無川断面以東及び芦屋神戸断面以西を直進する大型車を含む。



(単位:台/日)

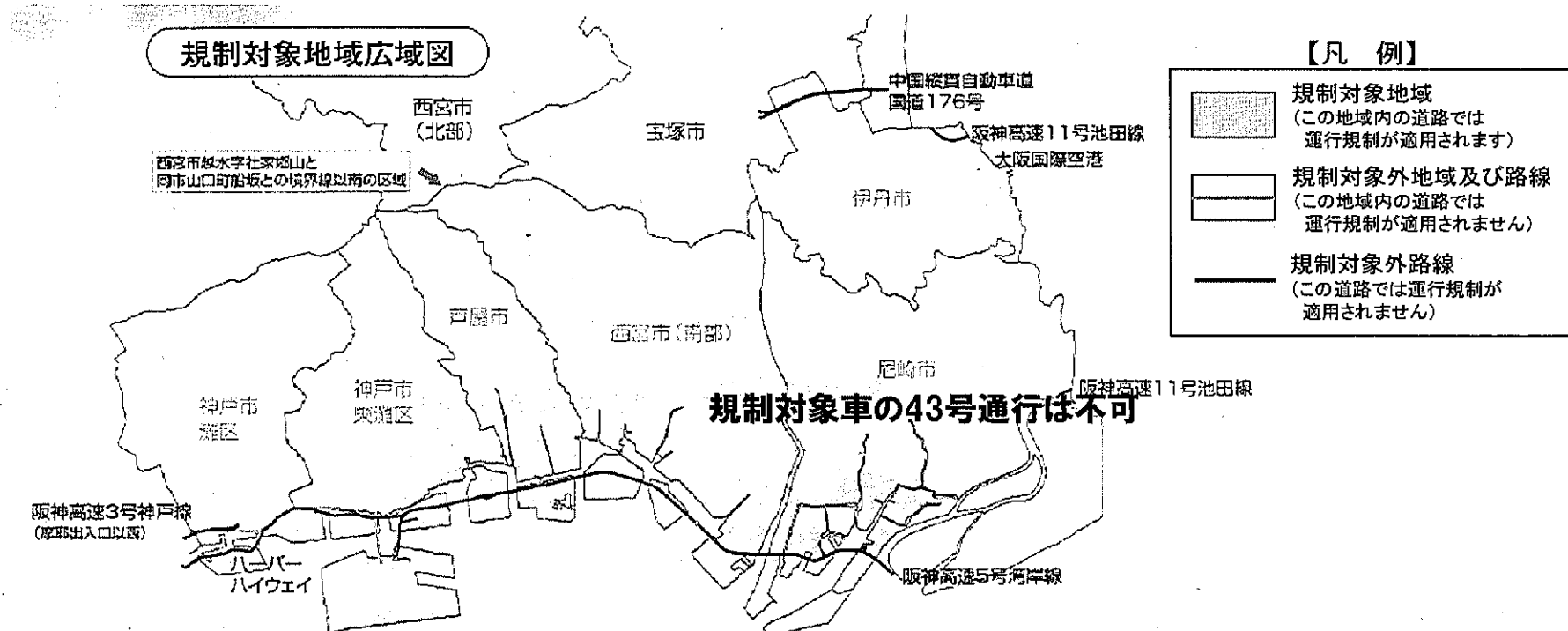
資料)H23.3ナンバープレート調査結果より試算

実効性を高める方策(案) 1

特殊車両自動計測システムを活用した、
ディーゼル自動車等運行規制(兵庫県条例)違反車の取り締まり強化

兵庫県：ディーゼル自動車等運行規制

- ・排出基準に適合しない車両について規制対象地域内の運行を規制
- ・自動車NOx・PM法による単体・車種規制とともに沿道環境改善に大きな効果



実効性を高める方策(案) 1

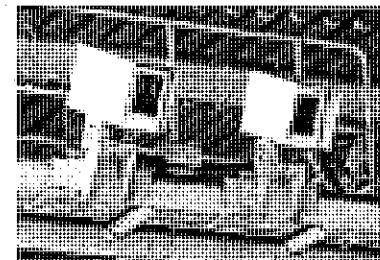
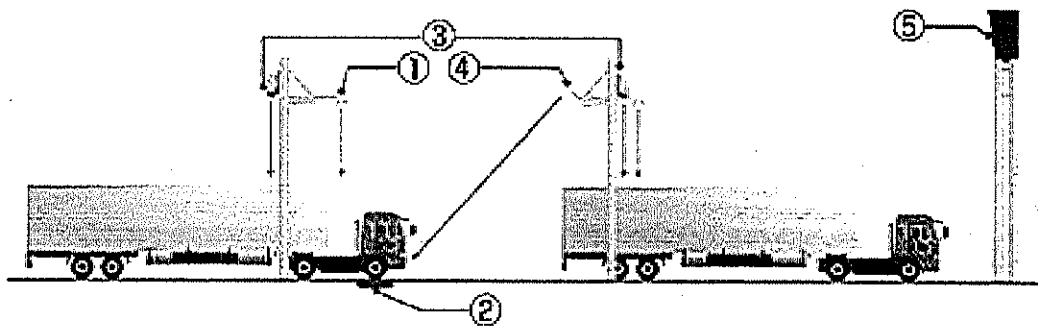
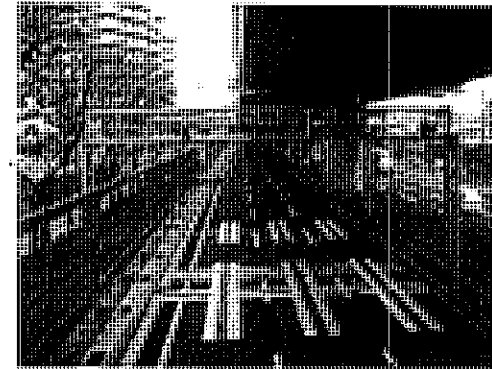
カメラ検査体制の強化・・・ 特殊車両自動計測システムを活用した24時間検査へ
⇒ これを広報することで抑止効果(湾岸線等の通行、適合車への切替え)
が期待できる

特殊車両自動計測システム

- ・幅、長さ、重量などが制限値を超える特殊車両を認識し、ナンバープレートから通行許可の有無を確認するシステム
- ・尼崎市と神戸市に5箇所設置



兵庫県と協力し、運行規制の適合車か確認



④ナンバー認識部

①車高計測部 ②軸重計測部 ③車長・車幅計測部 ⑤情報表示部

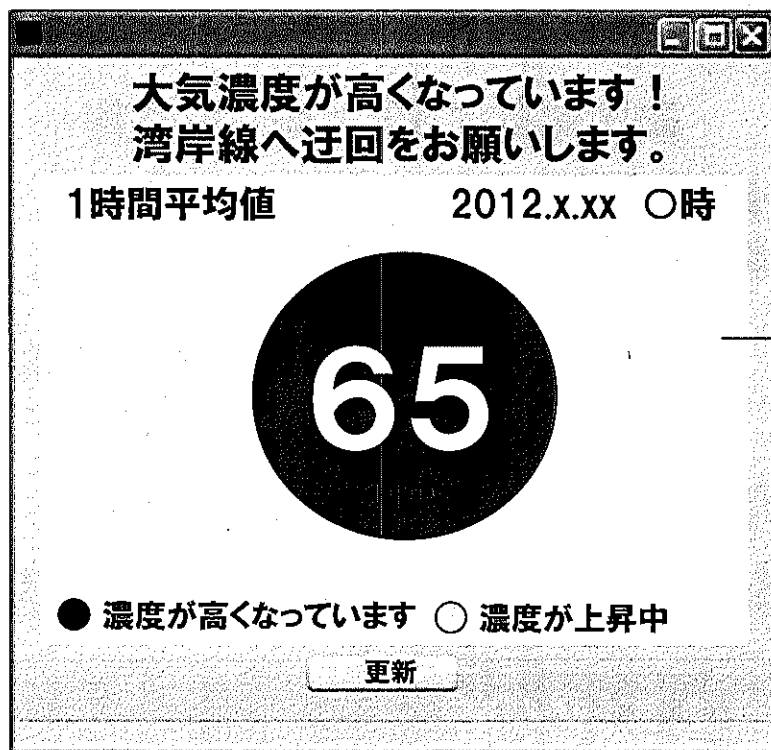
実効性を高める方策(案) 2

対策2 大気濃度・渋滞等の情報提供による、湾岸線への誘導

ねらい 湾岸線迂回のきっかけづくり

大気情報(イメージ)

※ルート選択の判断材料として、観測局で公表している速報値(NO₂)をホームページで公開



連動

情報板での迂回要請(イメージ)

大気濃度が高くなっています。
湾岸線へ迂回を!

実効性を高める方策(案) 3

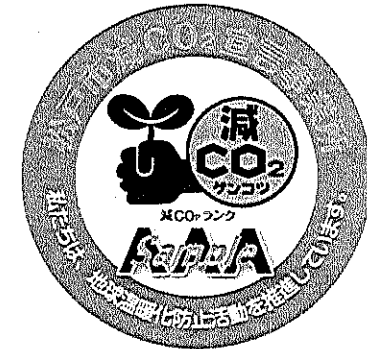
事業所、ドライバーの協力を促進させる仕組みの検討

事例

◆減CO2(ゲンコツ)宣言事業所制度(松戸市)

地球温暖化防止、省エネ・省資源等、環境に配慮した取り組みを積極的に実践している事業所を支援

- ・市のホームページなどにより「松戸市減CO2宣言事業所」として広報
- ・「登録証」及び「登録ステッカー」を交付
- ・名刺やチラシ等への減CO2宣言事業所マークの利用。



松戸市HPより

◆「1級ドライバー」「エコ・ドライバー」の認定制度(A運送会社)

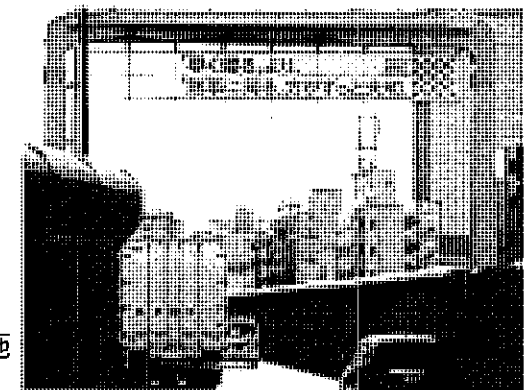
デジタル・タコグラフを活用し、「安全運行・経済走行・法令遵守」の基準を設定。
成績によりドライバーに称号を与え、表彰も実施。

- ・1級ドライバー・・・毎日95点以上の成績を3ヶ月連続
- ・エコドライバー・・・毎日90点以上

◆「東京スマートドライバー」プロジェクト

コミュニケーションの力で首都高速の事故を減らす市民主体型
交通安全プロジェクト。

- ・ドライバーひとりひとりの思いや力を結集し、事故を減らすための様々な取組を実施
- ・渋滞スマートドライバー計画など



メッセージフラッグ

TOKYO SMART DRIVER HPより